

連続事故発生区間にランブルストリップスとグルーピングを設置します ～富山南警察署と合同点検実施、音と振動で注意喚起～

- 平成20年12月に、国道41号富山市庵谷(長良谷洞門)地先で車が正面衝突する死傷事故が連続して2件発生しました。
いおりだに ながらだにどうもん
- 同年11月にも、同箇所洞門に衝突する車の単独死傷事故が発生しています。
- そこで、富山南警察署と富山河川国道事務所は事故現場の合同点検を実施し、カーブが連続する区間にはランブルストリップスを、カーブ手前の下り勾配区間にはグルーピングを設置することとしました。

<工事の概要>

工事区間：国道41号 富山市庵谷地先(長良谷橋～松ヶ谷橋 L=305m)
ランブルストリップス設置 L=305m
グルーピング設置 L=75m
いおりだに ながらだにばし まつがだにばし

工事時期：平成21年2月23日(月) (予定)※雨天順延



設置イメージ (富山市榆原地先)

お問い合わせ先

- ① 富山南警察署 交通課長 中村 和弘 電話 076-467-0110 (代表)
- ② 富山河川国道事務所 交通対策課長 天坂 豊治 電話 076-443-4725 (直通)



富山河川国道事務所 Tel. 076-443-4701 (代)
〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

幹線道路の異常を発見したら・・・全国共通道路緊急ダイヤル「#9910」へ

別紙-1 ランブルストリップス、グルーピング設置予定箇所の状況

＜ランブルストリップス設置予定箇所＞



長良谷洞門 高山方向を望む

＜グルーピング設置予定箇所＞

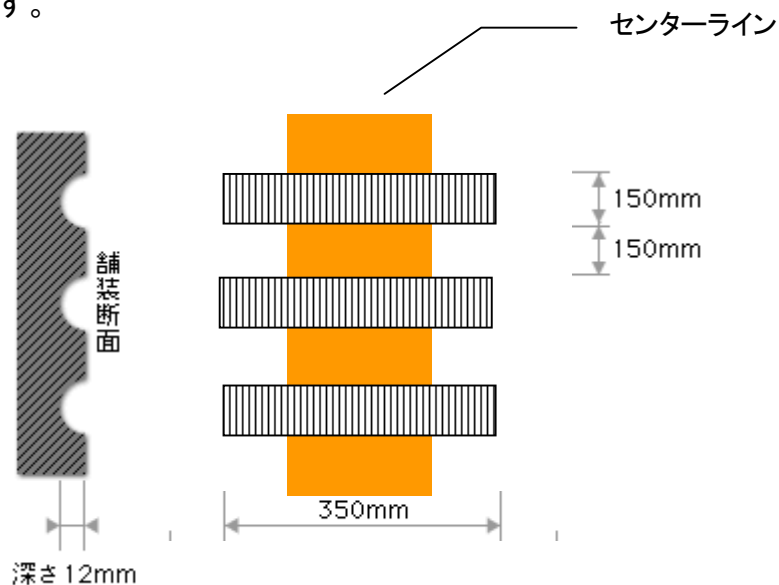


長良谷洞門 高山方向を望む

別紙ー2 用語の解説

<ランブルストリップスとは？>

- ランブルストリップスの意味は、ランブル(rumble)が、(車などが)ガラガラ(ゴロゴロ)音をたてて進むことであり、ストリップス(strips)は、細長い形が続くことです。
- ランブルストリップスは、舗装路面を削り、カマボコ状の凹型を連続して配置することにより、その上を通過する車両に対し大きな振動を発生させ、ドライバーに車線を逸脱したことを警告する対策です。



- ランブルストリップスは、富山県内の直轄国道では次の箇所に設置されています。
平成18年11月 国道41号富山市榆原～笹津地内(L=944m)
平成19年11月 国道8号高岡市高田島～福岡町本領地内(L=1,440m)
- 国道41号の設置区間では、ランブルストリップス設置後、交通事故は発生しておらず事故防止効果が確認されています。
- 国道8号の設置区間では、ランブルストリップス設置後、センターラインオーバーによる正面衝突事故は発生しておらず事故防止に効果を発揮しています。
- 正面衝突事故対策の従来工法である中央分離帯、センターポール、チャッターバーに比べて、ランブルストリップスは設置費用が低廉であり、除雪の支障にならないという特徴があります。

別紙-3 用語の解説

<グルービングとは？>

- グルービングは、舗装路面の横方向に細い溝を連続して彫り込んだもので、この上を走行するとタイヤから音と振動が伝わり、ドライバーに注意を促す対策です。
音と振動はランブルストリップスよりも小さい。

